

～川と人、人と人をつなぐ～

河川レンジャー 淀川管内

News No.3



カマツカ



河川レンジャー 淀川管内 って?

行政と住民とが一体となった河川管理を目指すため、淀川・宇治川・桂川・木津川をフィールドとした川に関するさまざまな活動を行い、住民のみなさんに川に対する意識を呼びかけている行政と住民のコーディネーター（橋渡し役）です。



ハクセキレイ

木津川出張所管内 流域センターが 開設されました



木津川における河川レンジャーの活動拠点として、木津川出張所管内流域センター（木津川市北河原）が開設されました。

もともとは「北河原災害待機所」として防災機器保管庫や災害発生のおそれがある時などの待機所として運用してきていた施設です。ただし、平常時の有効な活用という観点から、木津川と地域との交流の場、情報発信の場として活用してみたいという意見も出され、木津川出張所管内河川レンジャーが昨年度から有効な活用方法の検討やその利用について地域住民の意見をまとめてきました。



7月21日にはこのセンターにて、木津川管内・山村レンジャーによる活動「地域で考えよう防災」が開催され、参加者に向けて防災機器の公開や、元淀川左岸水防事務所組合・裕永氏による指導のもと、土のうづくり体験を行いました。また、山城大水害を経験した地元の方による水害についてのお話によって、川の怖さとともに災害に対する意識の啓発が呼びかけられました。

利用は平常時のみ（防災施設のため）、センターには会議室などが設けられており、今後の利用に関して、主に河川レンジャー活動を中心に、さまざまな活動を通じての利用を進める中でよりよいセンターの活用を見いだしていきたいと思います。



「レンジャー養成講座」が開講されました。

次号案内

河川レンジャー News 第4号

平成20年 1月発行予定

淀川管内で活動していたく河川レンジャーを募るために開講された6月2日の「淀川発見講座」受講修了者を対象に、「レンジャー養成講座」が開講されました。3日間にわたり、治水や水使用に関する講義と活動計画づくりのワークショップの他、木津川では実際に受講生全員が川に入り自然観察や、救命講習を受講しました。また、最終日には河川レンジャー希望者より、「河川レンジャーとしてやりたい活動」のプレゼンテーションと討論会が行われ、幅広い活動企画案や意見が出されました。今後審査を経て、講座受講者の中から新規レンジャーが誕生となります。



淀川管内河川レンジャー事務局

〒573-0056 大阪府枚方市桜町3-32
TEL: 072-861-6801 (9時~17時) <http://www.river-ranger.jp/>

平成19年10月発行

ツバメのねぐら入り観察会

淀川管内にある数カ所のヨシ原には、真夏の日没時にツバメが飛来し、ねぐら入りする様子を見ることができます。8月の第一週目にはこのうち2カ所のヨシ原で河川レンジャーが「ツバメの観察会」を行いました。

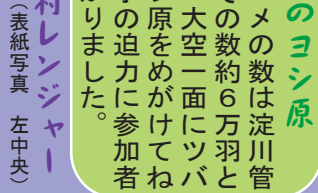
淀川下流域、ヨシの群落
ツバメが見られる場所は、年によって若干変動しています。大都市の中でもツバメのねぐら入りを見ることが出来ます。

福島管内 菊井レンジャー
住宅地も近い、大阪工業大学グラウンド近くでは、数は少ないものの、ツバメの親子が飛び交う姿を観察することが出来ました。

桂川管内 中村レンジャー
日没前には自然素材を使って可愛らしいツバメの名札を作り、参加者に「身近な自然への親しみ」が伝えられました。また、親子向けの紙芝居やクイズなどでツバメの生態についての学習も行いました。

宇治川・向島のヨシ原
寄ってくるツバメの数は淀川管内で一番多く、その数約6万羽と言われています。大空一面にツバメが飛来し、ヨシ原をめぐってねぐら入りする様子の迫力に参加者からは歓声が上がりました。

伏見管内 坂本レンジャー
ツバメの調査を実施している小学校に声をかけ、ねぐら入りの観察と同時に「ツバメの渡り調査」の見学も行いました。



2000年(平成12年)頃から芥川に進入したと考えられる外来植物の「ミズヒマワリ」。

淀川に注ぐ芥川の中流右岸において外来植物「ミズヒマワリ」の防除活動を行いました。初夏の暑い中、40人あまりの参加者が川に入りミズヒマワリを引き抜いた結果、水面を覆っていたミズヒマワリは取り除くことが出来ました。しかし、地域固有の生態系を守るため外来種問題はこれに終わらず、根本から外来植物を排除することが大事なこと、そしてそのためには住民と行政、自治体との連携した活動が大切だという意識を共有しました。

6月16日
高槻管内 中島レンジャー
「淀川・芥川の多様な生態系を守ろう！」

河川レンジャー活動報告

夏に行われた活動を紹介します。

夏休み親子歴史教室



7月4日
桂川管内 中村レンジャー
「ジュニア河川レンジャー交流会」

7月に伏見管内・中川レンジャーによって行われた「京都伏見リバースクール」では親子を対象に三栖資料館見学や川辺の散歩を楽しみました。

桂川の上流に続く三宝寺川近くにある宇多野小学校と天神川沿いにある葛野小学校。2つの小学校の4年生が集まり、交流会が行われました。授業の中で体験を含めて学習してきた「自分たちの身近にある川」に関するあらゆるテーマを大きな紙にまとめたものを用い、川についてわかったこと、わからないこと、疑問に思ったことをお互いに発表し意見交換を行いました。児童らは少し離れた地域でありながら桂川につながる一つの同じ流れ沿いのジュニア河川レンジャーとして、交流を深めました。



7月29日
枚方管内 上田レンジャー
「淀川丸ごと体験会」

春から上田レンジャーが草刈りやクリーンアップで「親しめる水辺づくり」に取り組んできた点野砂州・点野ワンドを会場として、子どもたちにさまざまな川体験してもらおう体験会が夏休みの一日を使って開催されました。子どもたちは水辺の観察やEポート体験、魚とりなど汗を流して楽しみなながら川を体感している様子でした。また、実際に体を動かすネイチャーゲームでは外来種問題について学習し、葦笛づくりでは淀川の代表的な植物であるヨシについても学びました。

外来種って、何だろう？

近年、よく聞く外来種という言葉。淀川管内でも環境問題としてよく取り上げられています。外来種とは、主に人の手によって海外から持ち込まれた、本来その地域に住んでいない生き物のことを言います。また、特に在来種の生態系などに被害をおよぼす外国の生き物を「特定外来生物」として指定され飼育・栽培・保管・運搬・販売・譲渡・輸入などが原則禁止されています。ここでは河川で見られる外来種について紹介します。

★なぜ、外国の生き物が日本の川に入ってきてしまったの？
もともとハットや観賞用、食用として海外より輸入された動植物、魚類を生きのまま人間が川や湖に捨てたことや、海外からの荷物や乗り物に付着していたことが原因で日本での繁殖、定着がすすんでしまったと考えられています。淀川管内で見られる特定外来生物としては、オオクチバス(ブラックバス)やブルーギルなどの魚類植物ではミズヒマワリ、ボタンウキクサ(ウォーターレタス)などが挙げられます。

★どうして外来生物を防除しないといけないの？
外来種が日本の川に繁殖、定着することで、そこにもともといた生き物の生育場所が奪われ、日本固有の貴重な生態系が失われるおそれがあるため問題となっています。例えば、多くの外来魚はそこに棲む魚をエサとするため、本来そこに生きていた絶滅危惧種を含む在来魚の数が激減しました。また、非常に強い繁殖力を持つミズヒマワリなどの外来植物が川の水面を覆ってしまったことで、そこでは川底まで十分な光や酸素が行き届かず、水中の生き物や植物が生きられなくなっています。

★外来種から在来種を守るためにできることは？
外来種による生態系の被害を防止するために、環境省・農林水産省の「外来生物法」より「外来生物被害予防三原則」が唱えられています。
1. 入れない
悪影響をおよぼすおそれのある外来生物をむやみに日本に入れない
2. 捨てない
飼っている外来生物を野外に捨てない
3. 拡げない
野外にすでにいる外来生物は他地域に拡げない

淀川管内河川レンジャー活動としてはこれまでに芥川、城北ワンド、点野ワンドにて外来魚・外来植物の防除とともに、外来種について考える活動を行ってきました。また、淀川管内全域で行われている多くの自然観察会においても外来種問題を取り上げ、住民のみなさんに環境保全の大切さを呼びかけています。



8月26日
木津川管内 山村レンジャー
「川で遊ぶ魚をとろう」

木津川と支川の青谷川が合流する山城大橋東詰付近で親子を対象とした魚とりのイベントが行われました。太陽のもと実際に川に入り手づかみで、また網などを使っての魚とりや川遊びには子どもだけではなく、大人も夢中になって参加する生き生きとした姿が見られました。自然と直に触れ合うことで川の楽しさ、怖さのほかにも、川や川に棲む生き物の現状を子どもに伝えようと、講師による魚の生態や魚を取り巻く環境についてのお話、川の水の水質検査も行われました。



9月11日
福島管内 辻川レンジャー
「河川防災スクール」

将来の防災リーダーの育成、また体験を通しての世代間の交流を目的として、十三中学校の生徒会を中心とした生徒を対象に、実践を含めた防災の体験会が行われました。水防組合員による水防工法についての説明のあと、実際に土のう作り、そして作った土のうを使って洪水時、堤防の漏水対策に有効な積み方「釜段工」に挑戦しました。生徒らは慣れない作業に一所懸命でした。また、淀川消防署員の方からは、消火活動に使用する可搬式ポンプが紹介され、実際にポンプを使って、水を吸い上げ、釜段工の止水性を確かめました。



10月～12月の

河川レンジャー 活動案内

- 活動の参加お申込、お問い合わせは事務局にて受付いたします。
- 小学生以下のお子様は保護者同伴でのご参加をお願いします。
- 活動の詳細は決まり次第、ホームページからも発信していきます。

淀川流域での活動

福島管内 菊井レンジャー

「河川レンジャー自然観察会」

淀川下流域は多くの野鳥が見られる貴重な自然の宝庫！小中学生と大人を対象に自然観察会を行います。

日程：毎月第2日曜
(10月14日、11月11日、
12月9日)

実施場所：十三干潟、
柴島干潟

参加対象者：一般



福島管内 辻川レンジャー

「もしものための防災
きれいな淀川を目ざして
力を合わせて川と町を守ろう」

「淀川河川敷フェスティバル」の河川レンジャーコーナーにて水中歩行、水没ドアの水防体験施設や資料の展示などで、防災を中心とした啓発を行います。

日程：10月21日(日)

(雨天時は28日に順延)
実施場所：淀川河川公園
西中島地区

参加対象者：一般の来場者



毛馬管内 野路レンジャー

「毛馬閘門の見学会」

身近にある大切な施設を知り、水への親しみと大切さを実感するとともに水の利用法、防災意識について学びましょう。

日程：11月下旬

実施場所：毛馬排水機上周辺
参加対象者：一般



毛馬管内 原田レンジャー

「城北ワンド群での自然観察 (外来魚の捕獲)」

多くの魚や生物が棲む城北ワンドには、淀川固有の生き物もいます。近年問題視される外来種問題も含め、淀川の自然環境について学習します。

日程：11月

実施場所：城北ワンド群
参加対象者：小学生以上

高槻管内 中島レンジャー

「淀川・芥川の 多様な生態系を守ろう」

地域の生態系を脅かす事で知られるブラックバス。実際に地引き網を引き、捕獲を図るとともに外来種について考えます。

日程：10月6日(土)

実施場所：芥川大橋下流
右岸(親水護岸付近)

参加対象者：小学生以上



枚方管内 上田レンジャー

「淀川と人との関わり 歴史追求」

人と水とのゆかりの地が多く残る点野周辺にて、環境はもちろんのこと、社会と水・淀川の関係(利水・治水)について学習することで小学生に川の大切さを呼びかけます。

日程：10月

実施場所：点野ワンド周辺
点野茨田樋遺跡水辺公園
参加対象者：小学校との連携により実施

枚方管内 立川レンジャー

「点野ワンドクリーン作戦と 外来植物除去」

生き物の貴重な生息場所である点野ワンドの河川環境保全のため、地域みなさんとともに砂州地帯の清掃・美化作業とミズヒマワリやナガエツルノゲイトウなど外来植物の防除を行います。

日程：10月7日(日)

実施場所：点野ワンド
参加対象者：一般



桂川での活動

山崎管内 仁枝レンジャー
「私たちの川を見る・知る・考える」

マイリバーウォーク

桂川の川辺を歩いて水と人との関わりを実感し、身近にある私たちの川の現状を見て知ってそして今後どうすべきかをみんなで考えましょう。

日程：①10月13日(土)
②11月10日(日)

実施場所：桂川下流地域

(①横大路羽束師橋)

横大路富ノ森町付近

(②淀納所宮前橋)

納所岸ノ下町付近

参加対象者：小学生以上

桂川管内 田子レンジャー

「自然観察会 秋を探そう」

虫の音が響く桂川の河川敷にて秋に見られる野鳥、草花中心に自然観察会を行います。心を癒す桂川の自然にふれながら環境保護の意識を高めましょう。

日程：10月14日(日)

9時～15時

実施場所：

阪急松尾駅～西京極駅

参加対象者：一般

「桂川美化啓発活動」

流域の小学生に向け、桂川の豊かな自然とその大切さを伝え、環境美化を呼びかけます。

日程・実施場所：未定

参加対象者：小学校との

連携により実施



桂川管内

中村レンジャー

「桂川講座」

「桂川ってどんな川？」

桂川流域で活動する住民(漁業・地域・外来生物研究者・河川管理・野鳥)が集まり、さまざまな側面から見た桂川に対しての認識を深めると同時に交流をはかります。

日程：10月5日(金)

13時半～16時

実施場所：松尾大社・蓬萊の間

参加対象者：一般

「桂川自然観察会」

大切な自然を将来へ受け継ぐため、保護者とともに小学生を対象に身近な河川の生きものについて学びます。

日程：12月

平成20年2月

実施場所：嵐山～松尾界隈

参加対象者：小学校との

連携により実施

「京都環境フェスティバル2007」

「淀川管内河川レンジャーの取り組み」

京都環境フェスティバル2007にて、河川レンジャーのブースを設け、防災・環境などについて発信します。

日程：12月8日(土)

9日(日)

実施場所：

京都府総合見本市体育館

(パルスプラザ)

参加対象者：一般の来場者



宇治川での活動

伏見管内 坂本レンジャー

「水生生物・水辺の植物観察会」

宇治川支川にはカニや小魚が多くいるきれいな場所もあります。昔から地域の生活に大事な役割を果たしてきた宇治川。観察を通じて自然を守ることの大切さ呼びかけます。

日程：10月13日(土)

実施場所：宇治川支川

参加対象者：一般



木津川での活動

木津川管内 山村レンジャー

「木津川調べ」

「冬鳥の観察」

木津川河川敷にて冬に見られる野鳥の観察会を行います。講師による鳥についてのお話を通じて、野鳥の生態を理解しましょう。

日程：12月22日(土)

実施場所：木津川出張所管内

流域センター周辺

(木津川市北河原)

参加対象者：一般



9月1日 山村レンジャー活動

「花を訪ねる会」

～木津川堤にて
出会った花たち～



カワラサイコ (絶滅危惧種)



ツルボ



マリバルコウソウ



カワラマツバ



カワラナデシコ

ツリガネニンジン